

焼酎日記

二 杯 目

寅の干支ラベル

南国鹿児島にも冷たい北風が吹く師走。つまさき用カイロを忍ばせ、仕事帰りに近くの酒屋へ立ち寄り寄ってみる。

芋焼酎の裏ラベルを上げしげと眺めて吟味していると、酒屋のおやじさんがニコニコしながら「こちらは薩摩焼酎ですよ」と話しかけてきた。「ええ、最近知りました。鹿児島で造った芋焼酎のこと、このマークが印ですよね」と答えると、おやじさんは「ほほっ」と笑顔になった。そして、「シャパンとかスコッチ・ボルドー・バーボンなどと同じということですよ」と話してくれた。



支「寅」には、春は草木が芽吹くような、新しい挑戦の意味があるらしい。楽しみはお正月の祝い酒にとっておこう。

イギリスでの学生時代、冬休み一時帰国の時に父からのリクエストで、スコッチウイスキーをよく買って帰ったっけ。薩摩焼酎がそれらと肩を並べる世界ブランドだったなんて…鹿児島出身でことに誇りが沸く。勧められて白波の「干支ラベル」を買った。来年の干



今夜は、活きのいいヒラメの刺身に、黒毛和牛のすき焼きと黒白波のお湯割り乾杯！すき焼きのとろけるような牛肉と甘い肉汁が染みこんだ豆腐には、黒白波の甘さとコクがよく合う。大好きなチエリスト、ヨーヨーマとジャズシンガーのボブマクファーリン共演のハッシュュ、リトルベイビーを聴きながら、黒白波の夜は愉快に更けていくのでした。

Natou